

自律 尊重 挑戦 ～靴かろく往きて帰らん～

保護者、地域の皆様、このたび校長として着任しました上山です。皆様方には、千種小学校で2年間大変お世話になりました。引き続きこの千種の地で勤めることができ、とても幸せに感じております。これからも、千種ならではの教育「園小中高連携一貫教育推進事業」を基盤に、子どもの「育ち」と「学び」の連続性を重視した教育活動を地域とともに行う中で、一人一人の生きる力を育成していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、千種中学校の学校運営にあたり、私は、次のようなことを考えています。

○「生徒も教職員も明日も来たいと思える学校」「家庭・地域から信頼され、応援してもらえる学校」にしたい。

校歌の2番に「靴かろく往きて帰らん」という歌詞があります。若い時に本校に勤務していた頃から、私はこのフレーズが大好きで、その精神を大事に、教育活動を展開してきました。「靴かろく往きて帰らん」学校は、きっと一人一人に居場所があり、夢を語れる仲間がいて、自分磨きができている実感のある毎日が送れる学校だと思うのです。そんな、明日も来たい学校づくり、応援したい学校づくりを、生徒、教職員とともに進めていきたいと思っています。

「教室は居心地のいいところ。部活動・クラブ活動は自分を鍛えるところ。家庭は早く帰りたいところ。学校は明日も来たいところ。」・・・そう願っています。

○【教育は「種まき」である】

「人生二度なし」で有名な教育者・森信三さんの言葉です。教師としての使命について話されたものですが、子どもたちにとっても同様であると思っています。生徒たちには、中学時代において、仲間とともに、かけがえのない互いの命を大切に思い合いながら、頑張る経験や感動する経験をたくさん積んで欲しいと思います。失敗も貴重な経験。それらのすべてが未来の自分の礎となっていくのです。「毎日の勉強や生活、体験することは、すべて自分の未来につながっていて、今は、未来に『自分の花』を咲かせるための種まきをしている」そう信じて、一日一日をそして今を大切に、「未来への種まき」を頑張りたいと思っています。

○「自律・尊重・挑戦 ～かしこく やさしく たくましく～」を基盤に子どもを育てたい。

自律：自ら考え、判断し、責任をもって行動する（かしこく）

尊重：違いを理解し、他者を尊重する（やさしく）

挑戦：失敗を恐れず、新しいこと・困難なことに立ち向かう（たくましく）

これからの時代を生き抜くためには、「自律」の力を身につけておく必要があります。また、多様な考え方や特性を認め、他者を「尊重」する精神もなくてはならないと考えます。そして、自分の思い通りにいかずとも、他人や周囲のせいにならず、新たな価値を生み出すために「挑戦」する心をもって立ち向かう姿勢が大切です。ここ「希望の丘」で、「自律・尊重・挑戦」を合い言葉に、かしこさ・やさしさ・たくましさをしっかり身につけて欲しいです。

保護者、地域の皆様には、本年度もいろいろな場面でご協力いただくことがたくさんあると思います。信頼され応援される学校にするために、教職員みんなで努力してまいります。子どもたちの健やかな成長のために、皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

令和8年4月7日

千種学園栄栗市立千種中学校長 上山 昌秀